

2023 Business Report

第22期ビジネスレポート
2022年4月1日 > 2023年3月31日



ゲーム事業の好調により 営業利益・経常利益が過去最高となりました。 今後も継続的な成長を目指し 積極的な投資を促進してまいります。

当社グループは、「with entertainment」を存在意義として掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、IP x テクノロジーを軸に、多様なエンターテインメントコンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運用が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運用を行っております。また、メディア事業においては、IPの獲得・開発・育成を目的として小説、コミックス等の書籍、電子書籍の出版、販売を行っている他、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新規サービスを試験的



代表取締役社長 内藤裕紀

に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。

当連結会計年度における業績は、売上高10,800,257千円（前期比2.6%増）、営業利益2,281,354千円（前期比43.4%増）、経常利益2,192,519千円（前期比42.2%増）となり、営業利益及び経常利益は過去最高となりました。なお、運用中のタイトルで減損処理を行ったことで特別損失386,259千円が発生し、親会社株主に帰属する当期純利益は1,159,125千円（前期比43.6%増）となりました。各セグメントの業績は以下の通りです。

ゲーム事業

当期においては、主力IPタイトルが年間を通じて好調に推移し、収益に貢献いたしました。売上高につきましては、当社主力IPタイトルが好調さを維持したことに加え、昨年度後半にリリースしたタイトルが通期で寄与したこと等により、前期比で増加いたしました。利益につきましては、運用タイトルの増収影響に加え、運用体制の効率化や一部の不採算タイトルをクローズしたこと等により、前期比で増加いたしました。以上の結果、セグメント売上高は10,517,071千円（前期比1.5%増）、セグメント利益は2,903,312千円（前期比55.1%増）となりました。主力事業である当セグメントにおいては、引き続き運用中タイトルの安定的な収益の維持に努める他、開発中の複数の新規タイトルのヒットによる売上、利益の増大を目指してまいります。

メディア事業

当期においては、Twitterを活用したファンコミュニティ促進サービス『Rooot』が引き続き収益に貢献いたしました。また、IPの開発・獲得、育成、収益化チャンネルの多様化を目的として出版・映像事業に取り組む中、10月よりライトノベルレーベル「DREノベルス」の刊行を開始いたしました。さらに、Web3領域における新たな事業開発にも注力しております。売上高につきましては、『Rooot』の好調に加え、「DREノベルス」の刊行開始に伴い、前期比で増加いたしました。利益につきましては、出版・映像やWeb3などの新規事業領域への投資を行っており費用先行が継続しているため、損失額は前期比で増加いたしました。以上の結果、セグメント売上高は284,835千円（前期比67.7%増）、セグメント損失は621,957千円（前期はセグメント損失280,418千円）となりました。当セグメントにおいては、中長期的な事業成長を目指し、今後も積極的な研究開発投資を促進してまいります。

今後の見通し

中長期的な方針としては、主力のゲーム事業において、より強固な事業基盤を作るべく、運用タイトルへの追加投資や体制強化等を通じて長期安定的な収益の確保に努める他、新規タイトルのリリースによる売上成長、収益源の多様化・積層化を目指してまいります。また、積極的な投資を行い、ゲーム以外のエンターテインメント領域での事業開発に注力することで、IP x テクノロジーを軸に、多様なエンターテインメントコンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となることを目指してまいります。

2024年3月期におきましては、ゲーム事業において運用中タイトルの長期安定的な収益の確保と、新規リリースタイトル3本の着実なヒットによる売上成

長、収益源の多様化・積層化を目指しております。メディア事業につきましては、IPの獲得、開発、育成を目的として昨年10月より開始した、出版・映像領域のライトノベルレーベル「DREノベルス」の刊行を継続的に行うこと、及びコミック・webtoonレーベルの立ち上げを2024年3月期から行うことで、事業規模の拡大を目指しております。また、既存事業のノウハウと先進的なテクノロジーを活用した新規サービスの継続的な開発/提供を積極的に進めてまいります。

上記を踏まえて、2024年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高15,000,000千円、営業利益2,000,000千円、経常利益1,900,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益1,100,000千円を見込んでおります。

京都大学の学生だった私が2001年に設立した当社は、2022年11月で創業21年を迎えました。創業当時の主力事業であったブログサービスから、現在の主力事業であるゲーム事業まで、時流の変化にあわせて提供するサービスは大きく変化してきましたが、どのサービス・事業も創業以来の当社のアイデンティティである「with entertainment～期待を超える」を体現した「ドリコムらしさ」の溢れるサービスであったと自負しております。

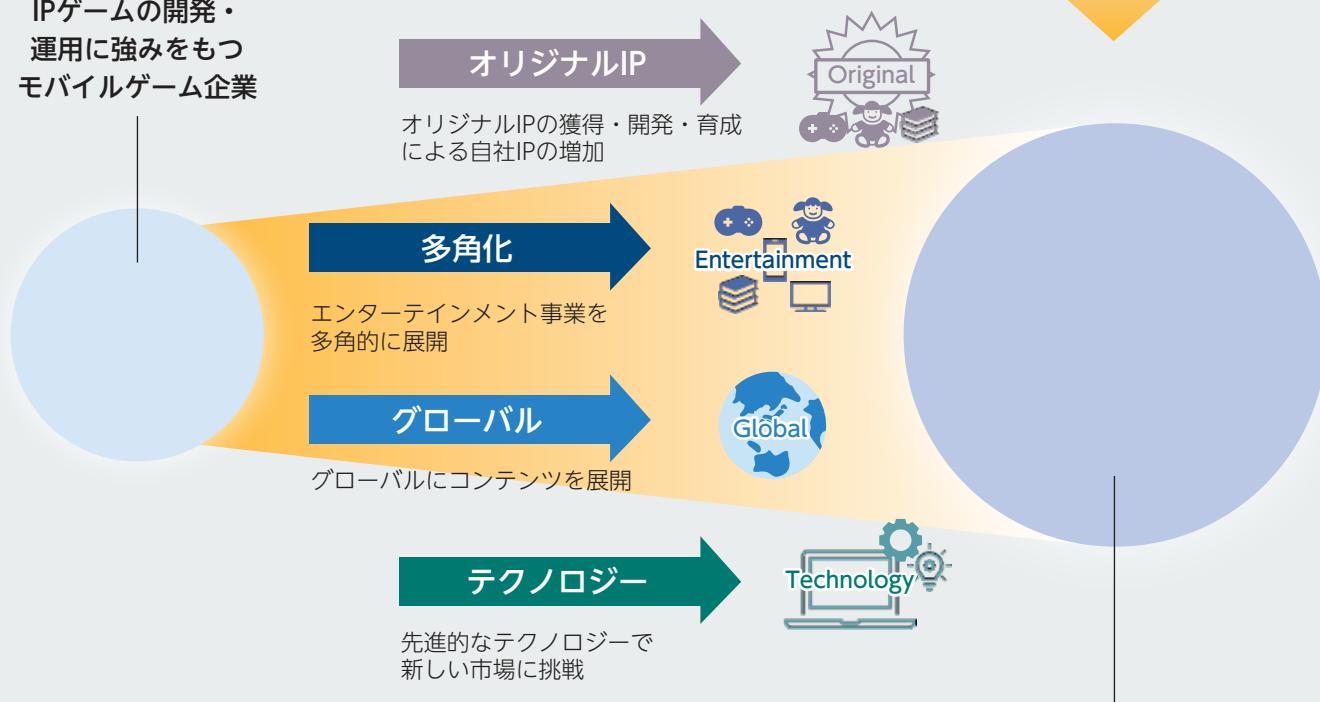
新たな技術の応用、普及が進み、世界が一層劇的な変化を遂げるこれからの時代において、引き続き「with entertainment～期待を超える」の精神を大切に、世の中の変化を担い、世の中に驚きと喜び、そして幸せを届けるサービス・事業の創出に向けて邁進してまいります。今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

IP x テクノロジーを軸に、多様なエンターテインメントコンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業を目指す

現在のドリコム

IPゲームの開発・
運用に強みをもつ
モバイルゲーム企業

中期的に目指す姿



IP x テクノロジーを軸に多様なエンターテインメントコンテンツを
グローバルに提供する総合エンターテインメント企業

中期的に注力する4つの事業領域

①IPを継続的に獲得・開発・育成しマルチメディア展開を狙う

- 自社IPを事業横断的に活用し、マルチメディア展開による相乗効果を狙う

②既存のゲーム事業をより強固な基盤に

- 既存タイトルへの追加投資・体制強化
→長期安定的な収益の確保
- 多言語対応、グローバル配信
- 自社配信、オリジナルタイトルの増加
- Free to Play/Pay to Win型以外の収益増加
- 買い切り型のPC/コンソールタイトル開発
→収益源の多様化・積層化、ポートフォリオの拡大

③ゲーム以外の新たな事業を立ち上げ

- ライトノベル、コミック、webtoonなど、出版社機能の構築
→継続的にコンテンツを創出し育てる
- 自社コンテンツのアニメ化や製作委員会出資など、映像分野への参入
→IPプロデュース力強化

④Web3など先進的なテクノロジーを使った取り組みで飛躍的な成長を狙う

- 既存事業のノウハウと先進的なテクノロジーを活用した新規サービスの継続的な開発/提供

連結財務ハイライト

売上高

(単位：百万円) ■中間 ■通期



営業利益

(単位：百万円) ■中間 ■通期



経常利益

(単位：百万円) ■中間 ■通期



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円) ■中間 ■通期



総資産・純資産

(単位：百万円) ■純資産 ■総資産



営業CF・投資CF・財務CF

(単位：百万円) ■営業CF ■投資CF ■財務CF



会社情報 / 株式情報 (2023年3月31日現在)

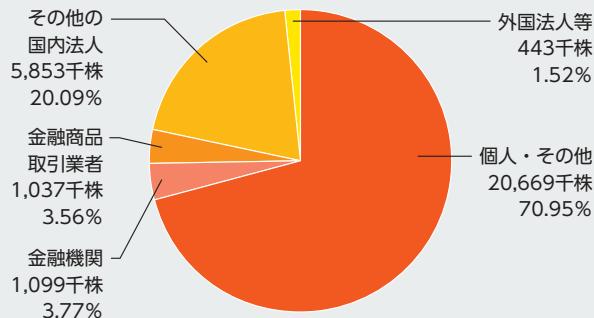
会社概要

商号 株式会社ドリコム
本社所在地 〒141-6019
東京都品川区大崎2丁目1番1号
ThinkPark Tower 19階
設立 2001年11月13日
資本金 1,811百万円
代表取締役社長 内藤裕紀
従業員数 368名 (連結)
主な事業内容 ゲーム事業、メディア事業
連結子会社 株式会社ドリアップ
株式会社スタジオレックス
株式会社BlasTrain

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 29,129,591株
株主数 8,715名

所有者別株式数



役員

代表取締役社長	内藤裕紀
取締役	後藤英紀
取締役 監査等委員 (常勤)	青木理恵
取締役 監査等委員	村田雅夫
取締役 監査等委員	清水勝彦

(注) 青木理恵氏、村田雅夫氏、清水勝彦氏は社外取締役であります。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
内藤裕紀	9,930,000	34.11
株式会社バンダイナムコホールディングス	5,532,000	19.00
池原諒平	873,800	3.00
株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	595,800	2.04
山口憲一	595,500	2.04
日本証券金融株式会社	490,200	1.68
広田証券株式会社	330,437	1.13
株式会社モバテック	250,000	0.85
川村浩史	200,000	0.68
株式会社SBI証券	196,406	0.67

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ
公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(郵便物送付先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
(受付時間 土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)

(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<https://drecom.co.jp/ir/public-notice/>
上場証券取引所 東証グロース

ホームページのご案内

当社webサイトでは、最新ニュースや様々な情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://drecom.co.jp/>

TOPページ



<https://drecom.co.jp/ir/>

IRページ

